

Neues in Nara

Nr.88

2024(令和 6)年 6 月 23 日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会(会長 河野良文)奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<https://www.daianji.or/jdgn/>

編集:浅川千尋 (asakawa@mild.ocn.ne.jp)

● 行事報告

1 ドイツ連邦共和国総領事館開設 150 周年記念講演会の開催



(講演会の模様)

6月2日(日曜)午後3時から獅子吼殿で、駐日ドイツ連邦共和国総領事館の総領事メラニー・ザクシンガー(Melanie Saxinger)氏をお迎えして、講演会が開催されました。当日は、天候が不順の中50名以上の参加者で盛会でした。

中祢勝美理事司会の下で、河

野良文会長が挨拶したあと総領事が講演されました。通訳は、総領事館の飛鳥井たまき氏が務められました。テーマは「時代の転換点から2年—ロシアの侵略戦争がドイツとドイツ外交および日独関係に与えた影響」でした。

講演内容の概略は以下のようなものでした。ドイツの安全保障政策とエネルギー政策という2つの側面から総領事は、テーマに関してわかりやすく説明をされました。

「まず、安全保障政策に関して、ドイツ政府はいち早くウクライナを支持し支援することを決定しました。装甲車・弾薬・無人機等の武器をウクライナへ提供しています。市民の多くもこの対応を支持しています。当初シュルツ首相は、ウクライナへの強力な武器供与には消極的でしたが、方向転換しパトリオット対空ミサイルシステムの供与などもしています。また、ド

ドイツ政府は、アメリカ、フランス等と同様にロシア領内へドイツが供与した武器でウクライナが反撃することを許容しています。ドイツでは、政治家や市民の間で2011年7月から停止されている徴兵制を復活させるべきであるかどうかという議論が起こっております。



(メラニー・ザクシンガー総領事)

ドイツは、アジア(とくに東アジア)での安全保障・平和維持にも関わっております。中国、北朝鮮、ロシアとの関係で東アジアでも緊張関係が高まっております。とくに、台湾や日本にも影響がある安全保障問題があります。ドイツは各国との防衛協力・交流を進めており、日本ともドイツ連邦共和国連邦軍と日本の自衛隊との間で「物品又は役務の相互提供に関する協定」を結んでいます。そして、ドイツ連邦軍(とくに海軍・空軍)と自衛隊との合同軍事演習をすることも予定されております。安全保障面でも日独間では、非常に緊密な関係を構築していくことになります。

次に、エネルギー政策に関して、ドイツはこれまでロシアの天然ガスに依存してきました。しかし、ロシアのウクライナ侵略以降ロシアの天然ガスの輸入から脱却し再生可能エネルギー政策を推進しております。太陽光、風力、水力、水素等によるガスや電力の供給を行っていく政策です。メルケル首相時代に決めた脱原発は、2023年4月中旬にすべての原発の稼働



(総領事講演会終了後の記念撮影)

を停止して実現しました。今後も原発の稼働はしないことになっております。また、貿易面でも中国との貿易が中心だったのですが、今後は中国よりも日本との貿易を強化していく方向へシフトしていくことになります。このように、ドイツは安全保障やエネルギー政策・貿易という面でもアジアで一番価値観

が共通している日本との関係を一層深めていくこととなります」。

参加者の何人から質問が出され、総領事は丁寧に回答をされていました。講演終了後総領事に花束が贈呈され司会の挨拶で講演会は閉会しました。なお、6月6日(木曜)の奈良新聞で講演会の記事が掲載されました。

2 2024年(令和6年)度年次総会開催

5月26日(日曜)午後1時半から大安寺催事棟で、年次総会が開催されました。

出席者18名、委任状52名で総会は成立しました。議案第1号から第5号まで承認されました。松本俊郎事務局長に代わり、加藤禎孝副会長が事務局長(中祢勝美理事が補佐役)をすることになりました。また、峯本晴輝理事と森田祥子理事が2023年度をもちまして理事を退任しました。これらのことに伴い理事の役割担当等も変更しました。

3 全国日独協会連合会年次総会

4月19日から20日まで鳴門市のドイツ館で開催されました。浅川千尋理事が出席しました。全国から21の協会が参加していました。



(鳴門市ドイツ館)

●今後の主な行事等の予定

●7月27日(土曜) 午後5時半から 恒例のビアアーベント 開催

毎年夏の恒例行事です。獅子吼殿にて開催。

●12月8日(日曜) 恒例のクリスマス会開催予定

●9月16日から10月6日頃にかけて、トラウツ博士を研究しているボン大学の湯川史郎博士来訪予定 9月22日(日曜)14時半から催事棟にてシュタムティッシュで講演をしていただく予定です。

● 新会員

6月16日の理事会でクーセギ・マーチャーシュ氏(KÖSZEGI MÁTYÁS 天理大学特任専任講師)の入会が承認されました。

● 会員だより

新会員 川崎 洋子さん



昨年春、ピアノの入江先生からお誘いいただき、これがドイツ語をマスターできる最後のチャンス！と思ってギゼラ先生の初級クラスを受講させていただいております。先生はじめ、クラスのみなさんは本当にステキな方ばかりで、楽しく学ばせていただいております。ただ、みなさん向上心がすごいので付いていくのが必死ですが・・・

もうかなり前になりますが、ドイツには過去に2度旅行しました。言葉が話せないので不安な気持ちで到着しましたが、一度目はギゼラ先生が、二度目は入江先生が駅のホームまで迎えに来てくださり、本当にほっとしたのを覚えています。

旅先で出会った方は本当に親切な方ばかりで、ドイツの思い出は「善き人」の印象が強いです。また、息子は小学生のとき思いがけずピアノのコンクールで賞をいただき、そのご褒美にシュトゥットガルトの音楽学校に短期留学をさせていただきました。そのときも親は付いていけなかったのが心配でしたが、現地では本当に良い方に恵まれたみたいで感謝しています。今度こそドイツ語がペラペラになり、またいつかあの日本にはない鮮やかな色の花の美しい、さわやかな風を感じる季節にドイツを訪れ、大好きなドイツ人の親友を作りたいです。

●お願い、郵送会員の方は、できるだけメール会員になっていただければ幸いです。郵便料金が10月より値上がりますこともありますので、よろしく願い申し上げます。

編集後記

今号も他の会員から助けていただきシンプルなフォーマットでお届けしております。皆様の意見や感想等をぜひお寄せいただけましたら嬉しい限りです。なお、SNSでも日独協会やドイツ事情を発信しております。

Facebook は、奈良日独協会(Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Nara)

Instagram は、narajapanischdeutsch です。(浅川)